

資料5-5-1 起草委員会意見一覧(文化・学習)

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
1	35	人権尊重の推進				【施策名の変更】 「意識の醸成」という言葉が総合計画での表現としては弱いと判断し、「尊重の推進」に変更した。
2	35	人権尊重の推進	指標	青山委員	「性別や年齢等による不利益があると感じている市民の割合」について、前期の基準値・目標値からまったく変わっていない。前期では進展がなかったのか。	実績が改善していないため、引き続き目標値としている8.5%目指していく。
3	35	人権尊重の推進	指標	青山委員	「調整中」には何が入るのか？前期では「人権意識啓発講座(市民向け)の受講人数」が記載されており、啓発事業の実績を評価する観点から、適切と思われるが。	(事務局) 他の指標の設定ができないかなど、現在検討しているため、まとめ次第、お諮りする。
4	35	人権尊重の推進	主要な取組	青山委員	「人権の花運動」とはどのようなものか。	人権尊重の意識を高めるため、小学校に苗を提供して育ててもらふ運動のこと。
5	35	人権尊重の推進	主要な取組	青山委員	上記の回答を踏まえて、花を育てることと人権の意識を高めることはどうつながるのか。関連をわかりやすく記載する必要がある。	年に4校を対象に実施しているが、何かを育てる・慈しむことの体験をすることで、人権意識を醸成するものと考えている。
6	35	人権尊重の推進	主要な取組	青山委員	「多様性社会推進事業」が新規に追加されているのは適切である。ここに記載されている「パートナーシップ宣誓制度」は注記用語の対象とすべきではないか。(前期では対象となっている。)	(事務局) 用語集で対応する。
7	35	人権尊重の推進	主要な取組	金子委員長	人間との関わりの話かと思うため、花を育てることとの関連が分かりづらい。分かりやすく記載いただきたい。	—
8	35	人権尊重の推進	主要な取組	山口委員	人権の花運動について、苗を育てることがどう人権尊重に結び付くのか分かりにくい。全校での実施ではなく指定されたところが行う事業だと思うため、そういったものが、主要な取組に書かれるのはどうか。	—
9	36	平和意識の啓発	施策の方向性	青山委員	「戦争」と「難民」が並列しているのは違和感がある。「難民」は「難民問題」あるいは「難民危機」としてはどうか。	ご指摘とおり、表現を検討する。
10	36	平和意識の啓発	施策の方向性	青山委員	「若い世代が、…自らが戦争や平和を学び、」の文章表現は違和感がある。「自分の問題として戦争や平和を学び、」としてどうか。	ご指摘とおり、表現を検討する。
11	36	平和意識の啓発	指標	青山委員	「この1年間で平和に関する理解や関心を深めた市民の割合」について、基準値は無し、目標値は「50.6%」である。それぞれの数値の根拠は何か。仮に新規の指標だから基準値が定められないのだとすれば、目標値を小数点以下まで設定することに意味はあるのか。	新たに追加した指標のため、令和8年度を50%を想定し、そこから毎年0.2%ずつ上げていく設定で、目標値を50.6%と設定した。
12	36	平和意識の啓発	指標	青山委員	前期では「平和啓発事業における来場者の満足度」が指標に選ばれている。平和啓発事業にかかわる指標をアウトプットの視点から追加してはどうか。	来場者の満足度で何が達成できたのか、また来場者も何をもって満足したと回答すべきなのか、といった判断が難しいと考え、指標を外した。平和意識の啓発の進捗を示すものとはいえないと考えた。
13	36	平和意識の啓発	主要な取組	青山委員	前期では「平和展・平和のつどい」などの具体的な啓発活動が示されていた。後期でも具体的な啓発活動を取組の中に記載してはどうか。	来年度、第2次世界大戦の戦後80年となる。これまでの平和事業をそのまま引き続き実施していくのかについては現在検討中のため、一旦計画からは削除した。
14	36	平和意識の啓発	現状と課題	志水副委員長	2024年日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞したことを記載いただきたい。世界のノーベル賞を受けることがいかに貴重なものであるかを市民に知らせるとともに、平和の尊さの意識啓発に努めると記載した方が良いのではないのか。	市長メッセージとしても発信したところであり、文言について事務局と調整する。
15	36	平和意識の啓発	指標	秋山委員	「理解」と「関心」はやや性質が異なる。併記した理由は。	平和展等の見てもらう啓発事業だけでなく、戦争の被害を受けた方とのディスカッションを実施しており、展示を見て「理解」するだけでなく、実際に話して「関心」を深めてほしいため、併記した。
16	36	平和意識の啓発	指標	金子委員長	前期は白糸台掩体壕や小学校の平和事業など具体的な事業が記載されていたが、後期は抽象的な表現となっている印象。分かりやすい平和意識に関する内容として掩体壕や小学校平和事業参加者を指標とするのも一案。	—
17	36	平和意識の啓発	指標	青山委員	総合計画の性質上、どこまで具体的に記載するかは難しいが、現状では施策により凹凸があるように感じる。市民が読んだ際に分かりやすいことが大切だと思うため、その視点で検討いただきたい。	—
18	36	平和意識の啓発		金子委員長	市には良い施設が多くあるので、もっと施策に盛り込んでどうか。	—
19	37	男女共同参画の推進	現状と課題	青山委員	アンコンシャス・バイアスについて記載されたのは適切と思われる。なお、前期では固定的性別役割分担意識について「男が仕事、女は家事・育児・介護等を担う」という具体的な記載があったが、後期では省略され、指標の説明の中に盛り込まれている。この変更にはどのような理由があるのか。	個別具体的な表現になっていたところを見直した。しかし、委員指摘のとおり、読みやすい表現となることが重要であるため、文章を検討する。
20	37	男女共同参画の推進	協働により推進したい取組	青山委員	協働したい取組に関して、具体的な記載があり適切と思われる。	—
21	37	男女共同参画の推進	指標	金子委員長	一つ目の指標について、国の文言だと思うが、現在の日本の特徴としてこの考えをいいとする人は多い。これを指標とすることで、「悪いこと」と伝えることにつながるのでは。多様な考え方がある中で、特定の考え方を良しとして問題はないか。	共働きが7割を超えている現在においても、女性が子育て・介護を行うケースが多い。アンコンシャス・バイアスが変わらないと男女共同参画が進まないと感じるため、指標を設定した。
22	37	男女共同参画の推進	指標	青山委員	少子化の一つの要因にもなっていると考えるため、性別意識が変わっていくことは大切なことであると思う。指標や説明の文言は検討の余地があるが、この方向性の指標を設けることは賛成。	—

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
23	37	男女共同参画の推進	指標	金子委員長	目標値を90%と高く設定すると、反対の意見を持つ人が悪いと伝わってしまわないか懸念。検討いただきたい。	—
24	38	都市間交流の促進		青山委員	都市間交流と姉妹都市のことが一緒に施策になっているのに違和感がある。	—
25	38	都市間交流の促進	現状と課題	青山委員	「市民保養所やちほの廃止など」の部分は、個別具体的な事例であって総合計画の文章としては違和感があるが、追記された理由は。	これまで、やちほへの宿泊を通して両市の交流を行っていた。やちほが廃止され、どのように交流を続けていくか、課題を感じていたため記載したもの。表現については検討する。
26	38	都市間交流の促進	現状と課題	青山委員	民間活用になると思うが好意的な捉え方をしてもいいのではないかと思った。	—
27	38	都市間交流の促進	現状と課題	青山委員	「市を取り巻く環境や社会状況の変化等」とあるのは、ウィーン市ヘルナルス区についても当てはまることか。	やちほのことを指している。ヘルナルスとの関係においてではない。
28	38	都市間交流の促進	現状と課題	青山委員	文章をそのまま読むとヘルナルス区と何か問題があるように読めるため、表現の整理をお願いしたい。	—
29	38	都市間交流の促進	指標	志水副委員長	基準値と目標値が8件と同じだが、理由は。	現行計画では12件としていたが、宿泊事業が廃止されたため8件に下げた。市民・町民の交流であり意向が尊重されるため、市で新しく交流事業を行うことは難しく、まずは交流を絶やさないことが大切と考え、その延長で何を実施するかは考えていきたい。
30	38	都市間交流の促進	指標	志水副委員長	派遣者数は6人と決まっているのか。	ホームステイを受け入れてくれる家庭が必要であり、現状の6人が限度であると相手方からも言われていることから、6人を維持していきたいと考えている。
31	38	都市間交流の促進	指標	青山委員	受入れも実施していると思うが、受入れも目標値はあるのか。	派遣に当たっては公費が入るものであり、ヘルナルス区からは予算の関係もあって6人の派遣と聞いている。
32	38	都市間交流の促進	指標	青山委員	実態と合わせるなら、受入れと派遣をそれぞれ6人と設定する方がいいのではないか。	—
33	39	多文化共生の推進	めざす姿	青山委員	前期では「本市の構成員(市民)として」と記載されていたが、後期では省略されている。この変更にはどのような理由があるのか。	外国人も市民であることは当然の在り方であり、あえて記載する必要はないと考えた。「本市の構成員として」と記載することで、現在、外国人を市民に含めていないという印象を与えかねないため削除した。
34	39	多文化共生の推進	現状と課題	青山委員	前期では「外国人市民」と表記されていたが、後期では「外国人住民」となっている。この変更にはどのような理由があるのか。地方自治体法第十条では「市町村の区域内に住所を有する者は、当該市町村及びこれを包括する都道府県の住民とする。」としており、国籍は要件ではない。多様性と包摂という観点からは、「外国人市民」という表現を維持するほうが適切ではないか。他の自治体では外国人市民、外国籍市民、外国籍住民、なども採用されている。	外国人住民が一般的と考えたが、改めて検討する。
35	39	多文化共生の推進	施策の方向性	青山委員	上記同様	外国人住民が一般的と考えたが、改めて検討する。
36	39	多文化共生の推進	指標	青山委員	「国籍や民族などの異なる人達の文化の違いを理解しようとしている市民の割合」について、基準値が4%、目標値が4.8%で0.2%ずつ上げていくものと思うが、低すぎるように思われる。目標値を上げるための具体的な取組は想定されているのか。 →数字の取り方も工夫してほしい。	市民意識調査で参考になる指標が4%程度だったため、そこから上げていくことを考えた。(事務局) 市民意識調査では、市のまちづくりにおいて重要だと考えるものの上位5つを選ぶ形式だったため、優先順位から漏れて数値が下がったと思われる。
37	39	多文化共生の推進	指標	青山委員	前期では「外国人市民の日本語学習会参加者数」と「府中国際交流サロンボランティア登録者数」が指標に選ばれていた(いずれもアウトプット)が、後期ではこれらの指標は削除されている。この変更にはどのような理由があるのか。アウトカムの指標を設定することは承知しているが、残した方がいいと感じた。	中間アウトカムを設定する考えから削除した。残すかについては、事務局と調整する。
38	39	多文化共生の推進	主要な取組	青山委員	相談窓口の運営が記載されているのは、取組の具体的なあり方を示しており、適切と思われる。ただし、「現状と課題」に記載されている「府中市多文化共生センターDIVE」がここでも明記されるのが適切と思われる。	市民に知ってもらうことも課題であるため、記載について検討する。
39	39	多文化共生の推進	主要な取組	青山委員	「府中市多文化共生センターDIVE」については、法務省の外国人受入環境整備交付金を活用した外国人のための一元的相談窓口であることにも言及してはどうか。	—
40	39	多文化共生の推進	主要な取組	青山委員	「国籍や民族などの異なる人達の文化の違いを理解しようとしている市民の割合」を増やそうとするならば、主要な取組にも記載するのが望ましいのでは。検討いただきたい。	—
41	39	多文化共生の推進	現状と課題	志水副委員長	「情報発信の充実や…」の前に「分かりやすい日本語での」という文言を入れた方がいいのではないか。	—
42	39	多文化共生の推進	施策の方向性	志水副委員長	「相談窓口の運営…」の前に「生活ルールの」と入れたらどうか。	—
43	39	多文化共生の推進		青山委員	審議会委員からの意見にある、国際交流サロンの格上げも検討いただきたい。	—
44	39	多文化共生の推進		山口委員	ニーズはどこになるのか。 外国人市民への周知だけでなく、例えば学校文化は日本独自だと思うため、独自であることを市民全員が理解していくべき。	—
45	40	地域コミュニティの活性化支援	施策の方向性	青山委員	「ICTを活用した地域コミュニティの活性化に係る取組み」が挙げられているが、主要な取組には記載がない。施策の方向性にあるだけでは表面的で具体的に何をやるのかが不明確であり、主要な取組にきちんと反映されるような工夫が必要ではないか。	前期でも課題に挙げていた。地域の交流の活性化のための一つの手段であり、主要な取組としては記載していない。
46	40	地域コミュニティの活性化支援	指標	青山委員	前期では「各文化センター圏域でのコミュニティ行事の参加者数」が指標としてなっていたが、後期では「文化センターでの事業が地域住民との交流のきっかけとなっていると思う市民の割合」となっている。アウトプットからアウトカムへの変更と思われるが、この変更にはどのような狙いがあるのか。	中間アウトカムに変えることが前提となる中で、地域コミュニティを活性化するためには市民の意識を測ることが適切と考えて設定した。(なお、総合計画の指標でない場合にも数値は引きつづき把握していく考えです。)

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
47	40	地域コミュニティの活性化支援	主要な取組	青山委員	「自治会等の活動拠点となる公会堂の整備」と記載されている。めざす姿(施策の目的)や現状と課題では文化センターは取り上げられているが、公会堂への言及はない。施策で公会堂はどう位置付けられているのか明確ではない。また、議論の前提として公会堂の利用の現状はどうなっているのか。	公会堂を整備することで、地域の方の活動を応援し、それが地域コミュニティの活性化につながる考えた。
48	40	地域コミュニティの活性化支援		青山委員	ICTの活用がおまじない的に使われがちを懸念するため、意見した。	—
49	40	地域コミュニティの活性化支援		青山委員	公会堂は全部の自治会が所有しているのか。	約400の自治会があるが、すべての自治会が公会堂を持っているわけではない。
50	40	地域コミュニティの活性化支援	現状と課題	志水副委員長	各文化センターという記載を「市内11の文化センター」とした方が良いのではないかと検討いただきたい。	—
51	40	地域コミュニティの活性化支援		渡辺委員	この施策に限った話ではないが、課題と方向性とのつながりが読めない。分かりやすく具体的に記載すべき。現状と課題で市の現状を浮き彫りにしたうえで解決のために主要な取組があるべきで、この施策で言うと課題はICTの活用、施設老朽化、自治会加入率減少であり、その解決のための方向性と取組を具体的に書くべきでは。	指摘のとおり、課題に対して具体的に明記できていないところがあるため、記載内容について事務局と調整のうえ検討する。
52	40	地域コミュニティの活性化支援		金子委員長	こどもの居場所(第3の居場所)としても地域コミュニティが挙げられるが、その点検討していることはあるか。	文化センターには児童館の機能があるが、そこだけでなく、施設全体を活用した子どもの居場所づくりを検討している。この施策では文化センターが対象であるため、記載していない。
53	40	地域コミュニティの活性化支援		青山委員	自治会加入率の減少が課題であると記載があるが、誰にとって問題なのか、課題が分からない。市民は困っていないのかもしれない。メリットも併せて見せていかないと加入率は増えていかないと。(誰も困っていないのかもしれない)	—
54	40	地域コミュニティの活性化支援		青山委員	児童館、放課後の学童と施策がバラバラであり、「子供の場」が色んな所でそれぞれ語られている。後期計画のため施策の枠組みは変えられないかもしれないが、縦割り行政でない、横断的な内容も検討いただきたい。	—
55	40	地域コミュニティの活性化支援		金子委員長	縦割り行政の側面が出ており、子どもの居場所をどうするかを考えてほしい。	—
56	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	めざす姿	青山委員	「学び返し」は、学びの成果を地域に還元することをめざす府中市独自の考え方であると書かれている。この点を強調するのであれば、指標において、学びの成果の地域への還元が測定できるような指標を設けてもよいのではないかと。	新たに設定した生涯学習サポーターの活動回数が、「学び返し」を測る指標であるとして設定した。これまでは「人数」としていたが、活動回数を把握することで、地域での学びの場が市民に還元されたかの成果を反映できると考えた。
57	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	現状と課題	青山委員	「文化センター内にある公民館」と記載されている。公民館の役割は文化センターでどのように位置付けられているのか。府中市の文化センターには公民館、高齢者福祉館、児童館が設置されているのが通例のようだが、総合計画で言及されているは公民館だけのように思われる。総合計画全体での公民館の位置付けは体系的になされているのか。	文化センターの位置付けについて、条例含めて定義がなく、機能ごとにこれまで検討がなされてきた。生涯学習センターを府中市の生涯学習の拠点として位置付けているが、それ以外の施設を活用したい意図があり、今回公民館を記載した。そのため、府中市総合計画として公民館の定義があるわけではないと認識している。
58	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	施策の方向性	青山委員	「指定管理者制度」については、注記用語の対象とすべきではないか。(前期では対象となっている。)市民にはなじみがないと思う。	異論はない、事務局と検討する。
59	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	現状と課題	青山委員	「学び返し」と「生涯学習サポーター」の関連を把握できた。それを踏まえると、現状と課題のところに、「市民が講師として地域に学びを還元…」や「生涯学習サポーターとして…」といった文言があるとわかりやすいと感じた。	—
60	41	学習機会の提供と環境づくりの推進		志水副委員長	カレッジ100という制度があると思うが、その記載がどこにもない。本事業を普及啓発、活用することで、学び返しが推進されると思う。	事業全体のスキームが停滞している。市として制度を引き続き実施するのか、その他全体的に現在検討中。そのため積極的にカレッジ100という文言は入れていないが、全体スキームの検討と併せて調整していく。
61	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	指標	秋山委員	基準値と目標値が前期から大きく変わっているのに対し、主要な取組が変化があまりない。オープンデータを見るとサポーターはR6で48名なので、60回の目標では全員が1回やれば達成してしまう。目標値の妥当性に疑義がある。	サポーターの更新を2年の1回実施している。その更新時に、活動回数を把握している。サポーターの活動回数の基準値について、直近の令和5年度が2回の実施だった。目標値の設定にあたり、これまで市がサポーターの活動内容を具体的に把握してこなかったという課題があり、制度の周知を含めて、サポーターの活躍をこれから後押ししていきたいと考え、基準値の30倍となるが、60回と目標値を設定した。
62	41	学習機会の提供と環境づくりの推進	現状と課題	秋山委員	上記の回答を踏まえ、課題認識をされているということのため、現状と課題のところにそのことも記載いただくと、関連が出てわかりやすいと思う。	—
63	42	図書館サービスの充実	現状と課題	青山委員	「著作権法の一部改正により、」と記載されているが、この表現だけでは、具体的に何が変わったのか理解することが困難である。たとえば、「メール等による著作物の送信を可能とする著作権法の一部改正により、」といった表現を工夫するのが適切と思われる。後段の図書館サービスの強化にもつながる。	説明文を入れられないか、記載内容について検討する。
64	42	図書館サービスの充実	協働により推進したい取組	青山委員	「児童・青少年やハンディキャップサービスの事業」という記載されているが、文意が理解しづらい。「児童・青少年を対象としたサービスや点字・録音図書等を貸出すハンディキャップサービスの事業」といった表現を工夫するのが適切と思われる。	説明文を入れられないか、記載内容について検討する。

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
65	42	図書館サービスの充実	指標	志水副委員長	市民1人あたりの年間図書貸出数について基準値を目標値が同じ理由は。	読書離れ等で貸出数は年に2パーセント程度ずつ減ってきている。そのような状況でも、公共図書館の運営状態を示すものとして適切な指標と考えた。電子書籍の閲覧貸出数を含める形で後期は評価していきたいと考えている。減少が想定される中で、電子書籍の貸し出しが伸びることを期待し、維持することが妥当と考えた。
66	42	図書館サービスの充実	指標	金子委員長	施策44.45は施設の入場者数を指標にしているが、図書館で入館者数は把握していないのか。	入館者数は中央図書館で把握しているが、その他12の地区図書館の入館者数は把握できないため、指標としては適切でないと考えた。
67	42	図書館サービスの充実	指標	金子委員長	ふらっと立ち寄れる地域の場所としての機能を評価してもいいのではと考えるため検討いただきたい。	—
68	42	図書館サービスの充実		山口委員	ハンディキャップサービスの事業について、ボランティアが減少しているため、取組について具体的に検討いただきたい。	—
69	43	文化・芸術活動の推進				【施策名の変更】 市が自ら行う文化振興の取組も位置付けられているので内容に即した名称に変更した。
70	43	文化・芸術活動の推進	指標	青山委員	「市民芸術文化祭参加者数」は前期の基準値が116,898人、目標値が127,000人であったのに対して、後期の基準値が62,136人、目標値が64,000人となっており、ほぼ半分に減少している。大幅な減少の要因はなにか。	一部の催しで参観者数の取り方を変更したことが影響している。具体的には、菊花展観覧者を会場である大國魂神社の祭り参加者全員が見たものとしてカウントしていた。
71	43	文化・芸術活動の推進	主要な取組	青山委員	「府中文化振興財団」については、注記用語の対象とすべきではないか。	市の計画に特定の団体の名称を入れるのかも検討し、入れる場合は注記の対応をしていきたい。
72	43	文化・芸術活動の推進		青山委員	市民芸術文化祭の記載を現状と課題や施策の方向性にも入れ、指標や主要な取組との関連を示すことを検討いただきたい。	—
73	43	文化・芸術活動の推進		渡辺委員	本市特有の伝統芸能として、府中囃子と武蔵国府太鼓の記載が主だが、それ以外の団体等への支援は行っていないのか。	府中囃子と武蔵国府太鼓を市の民俗芸能として位置付けているが、その他の文化団体への支援としては、青少年音楽活動団体が市のホールを使用する際の費用助成を行うほか、文化団体や芸文協会への会場使用料を助成している。
74	43	文化・芸術活動の推進	主要な取組	渡辺委員	主要な取組の方でも、その取組を記載いただくことで、市民活動の活発な促進につながるのではと考える。Jazzinfuchuやよさこいなどもある。市から支援を受けたい団体はたくさんいるため。	—
75	43	文化・芸術活動の推進		青山委員	文化芸術活動は市にぎわいをもたらす要素であると思う、春夏秋冬、文化を感じられる催しが行われていることを記載いただくことで文化の重要性を感じてもらえるのではないかと思う。	—
76	44	文化施設の有効活用	指標	青山委員	美術館の入場者数について前期の数値と全く同じである理由は。	2000年に開館して以来、過去最大の人数を基準値に設定している。現状これを上回ることができていないが、潜在的な力として、この数字を達成していきたいため、同じ数字を設定した。
77	44	文化施設の有効活用	指標	青山委員	回答を踏まえると、その旨、説明欄に記載したほうが良いと感じる。また、他の指標と比べて設定の仕方が異なるので改めて検討してほしい。	—
78	44	文化施設の有効活用	主要な取組	金子委員長	「天文に関する様々な・・・」と記載しているが、前期は「プラネタリウム」とわかりやすい。「東京都代表する総合博物館・・・」の記載もなくなっている。抽象的な表現になっており、わかりにくい。	前期ではプラネタリウムの改修の時期でもあったためリニューアルオープンに合わせて明記した。しかし、天文に関してはプラネタリウムだけでなく、ハヤブサなどもあり、「府中には宇宙がある」というテーマでイベントを実施しており、それを子どもたちにも学んでもらいたいため、「天文に関する～」という表記に改めた。
79	44	文化施設の有効活用		金子委員長	「府中には宇宙がある」というキャッチコピーがあるのであれば、記載してはどうか。検討いただきたい。	—
80	45	歴史文化遺産の保存と活用	主要な取組	青山委員	「更新や他の文化財施設と連携して」の部分は文意が不明確である(とくに何が更新されるのかが不明)。文章の書き直しが必要と思われる。	歴史観がはなれに移転するタイミングで、展示内容の検討を考慮しており、例えばくらやみ祭の時期に関連する展示を行うなど、展示内容の更新を意味している。
81	45	歴史文化遺産の保存と活用	主要な取組	青山委員	府中ふるさと歴史館がはなれに移るのか。	公共施設マネジメントの中で、移転が決まっている。はなれの展示室に展示の一部を移す。その他は国司館地区への移転となる。
82	45	歴史文化遺産の保存と活用	主要な取組	青山委員	内藤家を知ってもらう取組は何を行っているのか。一般人は入れないと思うが、どのように価値を知ってもらうのか。	昨年度、都の文化財に指定され、今年度から市で買い上げ、管理、保存活用計画の策定に取り組んでいる。将来的には活用もしたい。
83	45	歴史文化遺産の保存と活用		青山委員	国分寺市と市を超えた連携が行えるといいのでは。	国分寺とは遺跡の違いはあるが、観光の枠組みで国分寺府中観光振興連絡協議会というものが100回以上行われている。観光部門で行っているため、今後も周知に努めてまいりたい。
84	45	歴史文化遺産の保存と活用	現状と課題	秋山委員	前期ではインターネットを活用したという具体の記載があったが、後期では書かれていない、その理由は。	仮想現実機能(AR)を使って文化施設を体験してもらう取組を今年度から検討しているが、検討段階のため記載ができなかった。表現については検討する。
85	45	歴史文化遺産の保存と活用		渡辺委員	けやき並木に触れられていない。昨年条例ができた。都市基盤分野でけやき並木について出てくるが、ここで触れない理由は。	けやき並木については、条例も文化財としてではなく、まちづくりとして捉えているため、その分野で対応している。
86	45	歴史文化遺産の保存と活用		渡辺委員	けやき並木については条例ができたのにもかかわらず、市民が石垣に入ったり、ごみがあったり、とても気になっていたため、質問させていただいた。	—
87	46	スポーツの普及・促進				【施策名の名称変更】 スポーツタウンとして推進する中で、これまでの「するスポーツ」だけでなく「観るスポーツ」も含めて取組を展開していることから、実態に即した名称変更を行った。
88	46	スポーツの普及・促進		青山委員	「東京2020大会」については、正式名称である「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」と表記するのが適切ではないか。時間がたつと忘れてしまうため。	略称について誤りではないと認識しているが、前期の記載も踏まえて分かりやすい表記を検討する。
89	46	スポーツの普及・促進	指標	青山委員	「障害者スポーツに関わった市民の割合」が指標にあるが、何をもちょう数とするのか。やるだけでなく観るも含めているのであれば、説明が必要では。	市政世論調査により把握しており、市内の18歳以上の無作為抽出により回答いただいている。する・観る・支えるの点で障害者スポーツに関わった市民の割合を把握している。

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
90	46	スポーツの普及・促進		青山委員	女性のスポーツ活動が記載されていて、ジェンダー平等の観点からも良かった。	—
91	46	スポーツの普及・促進	指標	金子委員長	芸術劇場では稼働率の指標を設定しているが、スポーツ施設ではそういった指標はないのか。	予約を前提とする施設であれば稼働率を把握できるが、自由に使っていただく施設では稼働率を取れない。そのため、施策47では利用者数を指標に設定している。
92	46	スポーツの普及・促進		山口委員	施策48の主要な取組に「福祉部門と…」とあり、施策46で対応する方がいいのでは。施策46に障害者スポーツとあるが、「誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ」とするなど、障害者に限定しない方がいいのでは。	全体的に見直す必要があるため、表現含めて調整する。
93	46	スポーツの普及・促進		山口委員	障害者スポーツとはなにを指すのか。だれもが楽しめるものを表すのであれば、そういう表現にするべき。	—
94	47	スポーツ環境の整備	めざす姿	青山委員	「各スポーツ施設が、市民ニーズを踏まえた適正な配置及び機能を有することに加え、「する」スポーツの場として…整備・運営されるとともに、「みる」スポーツの場として拠点となるなど、市民が…スポーツに親しむことができるまち」という文章において、「適正な配置及び機能を有することに加え、」の部分と全体との繋がりが分かりづらい印象がある。「適正な配置及び機能を有することで、」としてはどうか	意見踏まえ、表現検討する。
95	47	スポーツ環境の整備	めざす姿	青山委員	「市民が「スポーツタウン府中」として誰もがスポーツに親しむことができるまち」という文章において主語が重複しており、読みづらい印象がある。「「スポーツタウン府中」として市民の誰もがスポーツに親しむことができるまち」としてはどうか。	意見踏まえ、表現検討する。
96	47	スポーツ環境の整備	指標	志水副委員長	利用者数はすべての体育施設を対象としているのか。	市内の70近くある体育施設の合計である。
97	47	スポーツ環境の整備	指標	金子委員長	率であったり、数であったり、施策によって異なるため、考え方の整合性を保つ必要があると感じた。	—
98	47	スポーツ環境の整備	指標	青山委員	前期の空調率100%は達成されたのか。	今年度で達成の予定。
99	48	トップチーム等との連携		青山委員	トップチームの具体的な記載がない。可能であれば記載した方がわかりやすいのでは。	ご指摘のとおりのため、表現調整します。
100	48	トップチーム等との連携	施策の方向性	青山委員	長い文章で読みづらい印象。前半はFUCHU NEXTのことで、後半は「スポーツタウン府中」とありトップチームに限った内容ではないと感じた。前半と後半で分け、後半は施策46に移動させる、前半は表記をわかりやすく修正するなど対応が必要。	ご指摘のとおりのため、表現調整します。
101	48	トップチーム等との連携	主要な取組	青山委員	「福祉部門など他分野」と記載されているが、具体的には何を指しているのか文意が不明確である。また、施策の方向性には「教育・福祉など他分野」と記載されているので、こちらとも表現を揃えるべきと思われる。(もっとも、施策の方向性の後半の内容を施策46に移動させるのであれば、それに合わせて再検討することが必要である。)	ご指摘のとおりのため、表現調整します。
102	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	めざす姿	青山委員	「知性や完成を」は「知性や感性を」に修正。	誤字のため修正する。
103	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	現状と課題	青山委員	「働き方改革や教育DX」と記載されているが、学校業務の変化を目指すという観点からは「校務DX」とする方が適切ではないか。「主要な取組」では「校務DX」と表記されている。	文科省も2つ文言を使っている。現状と課題の部分では、働き方改革だけでなくデジタル教科書の活用等を含めた「教育DX」としており、主要な取組では働き方改革として「公務DX」と記載している。細かい使い分けをしてしまっている。
104	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	主要な取組	青山委員	前期では「地域との連携を推進するため、各学校で学校運営協議会(文部科学省が推進するコミュニティ・スクール)またはスクール・コミュニティ協議会(府中版コミュニティ・スクール)の取組を展開します。」と記載されていたが、後期では削除されている。この変更にはどのような理由があるのか。文部科学省では部活動の地域移行を進めている観点から、この部分は残しておく必要はないだろうか。	引き続き重要ではあるものの従来の取組であり、後期計画としてこれからの潮流に向けた記載をしていく中で、取捨選択の中で削除したもの。
105	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	現状と課題	青山委員	(主管課回答を踏まえ)「教育DX」の推進の言葉の前に例示があると混乱しないため、表現の修正をお願いします。	—
106	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	主要な取組	青山委員	コミュニティ・スクールについて、トレンドが変わっているのは理解できるが、地域との連携重要であるため、記載すべきでは。	—
107	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	指標	秋山委員	前半のページで文言を大きく変えているが、指標は据え置けるのか。	指標自体の検討も含めて調整中。
108	49	社会を主体的・創造的によりよく生きる力の育成	指標	秋山委員	施策の方向性でグローバル人材の育成を記載しているが、指標の6年生と3年生の国語の学力を測るのでは評価できず適切でない。検討いただきたい。	—
109	50	学びの機会を保障するための支援の充実	指標	青山委員	取組の進展を評価し将来の改善につなげるという(PDCAサイクル)観点から、現在の指標には疑義がある。現状と課題および主要な取組であげられている「臨床心理士等の相談員やスクールソーシャルワーカー」の配置数ないし配置率を指標として設ける必要はないだろうか。	現状としてはアウトカムの出現率がふさわしいと考えているが、不登校施策の指標として適切なものを検討していく。

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
110	50	学びの機会を保障するための支援の充実	指標	青山委員	同じく「学びの多様化学校」や「サポートルーム」の設置数を指標として設ける必要はないだろうか。	学びの多様化学校は4月に1校オープン予定だが、その後は予定がない。また、サポートルームは市立小中学校全てに常時解説しており、どちらも指標の設定が難しい。
111	50	学びの機会を保障するための支援の充実	指標	青山委員	同じく「学びを確保するための経済支援事業」についても何らかの指標を設ける必要はないだろうか。	設定するとしたら奨学金の給付に関するものなどが指標と考えられるが、多ければ良いという性質のものではないため、設けていない。
112	50	学びの機会を保障するための支援の充実	現状と課題	志水副委員長	不登校について記載された点がよかったが、ヤングケアラーについて触れなくていいのか。市内には5.4%いると推定されると新聞に書かれていた。	ヤングケアラーには高校生や大学生を含む点も踏まえ、子育て部門の施策との調整の中で検討していく。
113	50	学びの機会を保障するための支援の充実		山口委員	ヤングケアラーに関する記載は入れるべきでは。誰が発見できるかと考えた際に、学校の先生だと思うため、学校の施策の中で触れていないのは違和感がある。	—
114	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	現状と課題	青山委員	「非構造部材」については、外壁・天井等といった簡単な説明があった方が良いのではないかと。	表現検討する。
115	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	現状と課題	青山委員	学校の統合や学区再編を含め、学校規模や配置の適正化を見据えた学校づくりが必要」とされており、相応に踏み込んだ指摘がなされているが、主要な取組には、これに対応した具体的な取組は示されていない。施策の方向性も同様に、紐づけた読み方はできない。	関連の深い学校施設老朽化対策事業に位置付けている。人口動態も踏まえ、第3次府中市学校教育プランは来年度改定予定であるため、調整したい。
116	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	現状と課題	青山委員	「第3次府中市学校教育プラン(素案)」を確認した限りでは、学校の統合や学区再編についての具体的な方向性は示されていない。府中市としては総合計画に盛り込むだけの具体的な検討を進めているのか。	プランの策定状況に合わせて今後検討していく。
117	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	指標	青山委員	前期では「校舎のトイレで便器の洋式化率100%となった学校の割合」が指標とされており、目標値は100%に設定されていた。後期では「校舎のトイレ」は指標から外されているが、目標値に達したためと理解してよいか。	令和4年度から3年かけて、100%整備が完了した。
118	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	協働により推進したい取組	青山委員	「新しい学校づくり」の検討が挙げられているが、これは具体的にはどのような取組なのか。また、主要な取組のどの部分が「新しい学校づくり」の検討に関わるのか、明確にする必要があると思われる。	文科省において、考え方が示され、市としても今後の学校施設・改築の在り方を踏まえ、進めていきたいと考えているが、表現については調整する。
119	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	施策の方向性	青山委員	学区再編も含めて検討しているということだが、施策の方向性では老朽化対策のみ書かれており、関連がうかがえない。	—
120	51	子どもの学びを支える教育環境の充実	主要な取組	青山委員	主要な取組の老朽化対策事業の中に学区再編も含まれているとすると、わかりにくい。説明を聞き、新しい学校の改築の段階から地域の住民を巻き込んだ学校づくりを指すと認識したが、本文と関連した書き方が良い。	—
121	51	子どもの学びを支える教育環境の充実		金子委員長	青山委員指摘のとおり、教育のビジョンが分かる記載に改められると良い。	—
122	52	小学生の放課後の居場所づくりの推進	現状と課題	青山委員	学童クラブと放課後子ども教室の違いが明確に示されていない。なお、前者がこども家庭庁、後者が文部科学省の担当であるとしても、小学生の放課後の安全・安心な居場所づくりという観点からは目的を共有する一方で、利用者の増加、施設の狭隘化という課題を抱えており、両者を連携させながら運営するという施策の方向性は妥当と思われる。用語集で対応するなど工夫してほしい。	注釈等活用してわかりやすい表現にしていきたい。双方の利用条件の有無等を踏まえ、2つの利点をうまく連携させて対応していきたい。
123	52	小学生の放課後の居場所づくりの推進		青山委員	学童クラブの利用要件に片親は含まれないのか。(回答を踏まえ)限られたリソースの活用においては要件の緩和も視野に入れてほしい。	原則共働き。
124	52	小学生の放課後の居場所づくりの推進		金子委員長	地域コミュニティと関わりがある施策と思う。子どもの居場所に関して縦割りについてのお考えは。	文化センターの児童館も小学生の放課後の居場所の一つと捉えている。統合して考えることが良いと思うが、総合計画の体系から検討する必要があると思う。
125	53	青少年健全育成活動の推進	現状と課題	青山委員	「スマートフォンの普及に伴うSNSを媒介とした青少年の犯罪被害やトラブルの増加」と記載されているが、最近の「闇バイト」事件の増加を考慮すると、「犯罪の加害者側に意図せず巻き込まれる事例」についても青少年に意識啓発することが必要と思われる。これは、施策の方向性、主要な取組についても同様のことが言える。	闇バイトに関して、加害者に回る危険性もあると認識している。啓発を行う必要性を感じているため、表記についても検討する。
126	53	青少年健全育成活動の推進	主要な取組	青山委員	「青少年インターネット利用啓発事業」において、対象は「小中学生」に限定されているが、高校生を含めた「青少年」を対象とするのが適切ではないか。前期では「青少年自身やその保護者向け」と記載されていた。若いうちからインターネットリテラシーを身に付けさせようという趣旨と理解するが、年齢に応じた講習が必要と考える。	インターネットトラブルに関しては青少年を対象と考えているが、インターネットリテラシーの向上については、早いうちに身につける取組として小中学生を対象に実施しているため記載した。表現について再度調整する。
127	53	青少年健全育成活動の推進	指標	志水副委員長	基準値と目標値を200人としているが、目標をもっと下げられないか。	検討する。
128	全体		指標	青山委員	前期ではインプットが挙げられていた。後期ではアウトカムが中心となっていることを受け止めた。大事だと思うが、施策によってはインプットも大事なのではないか。	(事務局) 適宜調整させていただく。

No.	施策	施策名	項目	委員名	意見	起草委員会での担当課回答内容
129	全体		協働により推進したい取組	青山委員	協働により推進したい取組が、主要な取組と関連していないものがある。	—
130	全体			渡辺委員	課題と方向性とのつながりが読めない施策がある。分かりやすく具体的に記載すべき。現状と課題で市の現状を浮き彫りにしたうえで解決のために主要な取組があるべきで、例えば課題が3つあれば、その解決のための方向性と取組を具体的に書くべきでは。	
131	全体			青山委員	大学が市内に2つあるが、あまり記載がないと感じた。大学側も行政との連携を重視しているため、記載について検討いただきたい。	—